

報告会開催のごあんない

ソーシャルインクルージョン の実践

重症心身障害児、医療的ケア児の
並行保育から見えてきたもの

三鷹市・武蔵野市では、平成26年から重症心身障害児・医療的ケア児の並行保育に取り組んできました。保育・看護・生活支援などその多様な実践のレポートを通じて、インクルーシブ保育・教育の可能性を学ぶ報告会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。
主催/重症心身障害児生活支援協議会

二部 14時40分

シンポジウム

統括コーディネーター 大石田久宗

(1)実践報告

協力施設:あきやまケアルーム・武蔵野市立境南保育園・三鷹市立中央保育園・三鷹市社会福祉事業団三鷹ちどりこども園・三鷹市立中原保育園
保護者代表 坂本 瑠美

(2)今後の展望

武蔵野市の医療的ケア児の保育 今後の展望 勝又 隆二
武蔵野市子ども家庭部長
武蔵野市の教育について 藤本 賢吾
武蔵野市教育部長
三鷹市の医療的ケア児の保育 今後の展望 秋山 慎一
三鷹市子ども政策部長
三鷹市の教育について 松永 透
三鷹市教育委員会教育部調整担当部長

プログラム

13時:開場 13時30分:開会

開会

武蔵野市子ども家庭部長 勝又 隆二

来賓あいさつ

三鷹市長 河村 孝
武蔵野市長 松下 玲子

一部 13時45分

基調講演

「これまでの並行保育と今後の展開」

重症心身障害児生活支援協議会会長 秋山千枝子

特別講演

「ソーシャルインクルージョンの動向」

こども家庭庁 支援局 障害児支援課長 栗原 正明

閉会

三鷹市子ども政策部長 秋山 慎一

ソーシャルインクルージョン social inclusion

日本語では「社会的包摂」と言われ、障害を抱えている方々を社会から隔離・排除するのではなく、健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支え合う、という理念を表した言葉です。

入場無料

事前のお申し込みが必要です。
裏面をご覧ください。

[日時] 2023(令和5)年

7月1日(土) 13:30-16:00

[会場] 元気創造プラザ
生涯学習センターホール

三鷹市新川6-37-1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4F Tel.0422-49-2521

[問い合わせ先] 重症心身障害児生活支援協議会事務局 Tel.0422-24-7462
吉澤(医療法人社団千美会 あきやまケアルーム)



会場までのアクセス

路線バス(小田急バス、京王バス)▶バス停「三鷹市役所前」または、「三鷹農協前」下車徒歩5分
みたかシティバス▶バス停「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ(市役所東)」下車すぐ

ソーシャルインクルージョンの実践

～重症心身障害児、医療的ケア児の並行保育から見えてきたもの～

参加申込書

「ソーシャルインクルージョンの実践」は入場無料で、事前のお申し込みが必要です。参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、事務局までFAXまたはメールにてお送りください。メールでのお申し込みの際には、件名「ソーシャルインクルージョンの実践」とし、下記の情報を記載してお送りください。PDFでも可能です。尚、Web参加される方には、報告会の一部を後日、申し込み者のメールアドレスにURLにてお送り致します。※定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めのお申し込みをお願い致します。

おなまえ	ふりがな -----	歳 ____
		男 ・ 女
所属先		
連絡先の電話番号 またはメールアドレス		
参加方法	どちらか○印をつけてください→ 現地参加 ・ Web参加(オンデマンド配信)	

●複数名でのお申し込みも可能です。以下に同行される方をご記入ください。

おなまえ	ふりがな -----	歳 ____
		男 ・ 女
所属先		
連絡先の電話番号 またはメールアドレス		
参加方法	どちらか○印をつけてください→ 現地参加 ・ Web参加(オンデマンド配信)	

おなまえ	ふりがな -----	歳 ____
		男 ・ 女
所属先		
連絡先の電話番号 またはメールアドレス		
参加方法	どちらか○印をつけてください→ 現地参加 ・ Web参加(オンデマンド配信)	

【申し込み先】

FAX.0422-79-2111

メールアドレス:akiyamakodomoclinic@gmail.com

重症心身障害児生活支援協議会